

KYOTO FUKUCHIYAMA

福知山移住

A to Z



福知山公立大学
The University of Fukuchiyama

このミニブックは2016年春、京都府北部のまち
福知山市に誕生した福知山公立大学の1期生が
福知山にUターンされた10名の人生の先輩から学んだ
「これからの未来に重要だと感じたもの」をAからZまで26で表現したものです。

2017年5月～12月の間、
「移住、定住先として、福知山の魅力、福知山独自の強み、可能性の言語化、可視化」
というミッションに学生が挑みました。

周辺や他の地になくて、福知山にだけにあるものを見つけるのは、
まちづくりをおこなうプロでもなかなか難しいものです。

福知山独自の魅力を探す旅のなかで見えてきたもの。
それは「しあわせに生きるためのたくさんのヒント」でした。

「セレンディピティ(serendipity)」。
何かを探しているときに、探しているそのものではないけれど
価値あるものを発見する能力はそう呼ばれます。

若い世代が心惹かれた26のキーワードには
これからの時代をしあわせに生きるヒントが荒削りながらよくあらわされています。

このあとも「移住、定住先として、福知山の魅力とは何か、
福知山の可能性を言語化する」旅を続けてほしいと思います。

福知山公立大学地域経営学部 塩見直紀

インタビューに協力いただいた方々(福知山にUターン)



新井厚子さん 美術家、海外で作家活動後、
福知山市大江町にUターン



小野田豪介さん 仏教文化研究者 丹波漆にひかれ
た妻と福知山市夜久野町にUターン



こうの史代さん 「この世界の片隅に」等で著名な
漫画家、ご主人の故郷に



沢田さやかさん 農家民宿「ふるま家」家人
福知山市三和町にUターン



滝町昌寛さん イラストレーター
福知山市大江町にUターン



西村優作さん 古本と珈琲「モジカ」店長
店長として福知山へ



秦貴一郎さん 栗農家(新規就農)
福知山市夜久野町にUターン



宮田毅さん・裕美さん 有機農家ミヤサイ(新規就農)
旧福知山市農村部にUターン



横川知子さん カフェ「まいまい堂」経営
福知山へUターン

福知山公立大学
地域経営学部地域経営学科(2年生ゼミ)



相見遥也
京都府京丹後市出身
硬式野球部所属



稲留優樹
奈良県平群町出身
囲碁サークル部長



井上麻実
島根県松江市出身
Glocal Activation Circle 副部長



梶房明希
岡山県岡山市出身



小林稜大
鳥取県鳥取市出身



高瀬 樹
富山県射水市出身



塩見直紀(特任准教授)
京都府綾部市出身
半農半X研究所代表

※福知山の新町商店街で月に1度開かれる「福知山ワンダーマーケット」で、滝町さん、宮田さん、横川さんに会うことができます。

CONTENTS

- | | | | |
|---|-------------------------------|---|-------------------------------|
| A | ATARASHII
新しい店が誕生し続けるということ | N | NANIMONAI
何もないのが魅力 |
| B | BATON
バトンタッチ | O | ONAJI
同じ価値観を持った人々 |
| C | CHARM
魅力 | P | POSITIVE
ポジティブ |
| D | DEEP
ディープ京都とDの精神 | Q | QUALITY
クオリティ~本当の豊かさって~ |
| E | EN
縁 | R | RETURN
ノーリターン~都会暮らしには戻れない~ |
| F | FUTURE
これから | S | SPIRITUAL
スピリチュアル |
| G | GEIJYUTSU
芸術 | T | TOOL
ツールを与える、与えられる |
| H | HYBRID
ハイブリッド | U | UI-TURN
UIターンをさせる何か |
| I | INAKA
田舎過ぎず、都会過ぎず | V | VEHICLE
車なくても |
| J | JIRYOKU
地力 | W | WONDER
福知山ワンダーマーケット |
| K | KIKKAKE
きっかけづくり | X | X
支え合い |
| L | LOVE AT FIRST SIGHT
ひとめぼれ | Y | YAKUWARI
役割 |
| M | MISSION
ミッション | Z | ZATSUNEN
雑念ない暮らし |



福知山には新しい店も多くあり、昔から続く老舗も多くあります。つまり、さまざまな種類の店があります。さまざまな店には一つ一つ違った特徴、個性があります。そして新しい店がさらに増えることによって、地域に新しい風、今までとは違った風を吹かすことができます。

① 相見遥也



地域のために必要なこと。それは、自分たちが身に付けたことを次の世代へ教え、受け継いでいくことだと思います。おじいちゃんから孫へ、孫からその友達へ。そうすることによって、地域はこの先もずっと続いていけるのです。

① 井上麻実



モノにも人にも良いところは必ず存在します。そんなたくさんの魅力を福知山で見つけることが出来るんです! ここ福知山で、モノの魅力・人の魅力、はたまた自分の魅力を探してみませんか? たくさんの魅力あふれるモノや人たちがあなたを待っています。

① 井上麻実

新しい店が誕生し続けるということ

魅力

D

DEEP

最近学んだ仏語débrouille(デボロイエ)。「何とかする」という意味のこの言葉は、お金をかけずに何とかするという意味で「バカンスはブランドで」など日常的に良く使われる。この精神、費用かけずあるものでやりくりする工夫を楽しむ田舎暮らし精神に通じるものがある。あってなんだか親しみ易い。

ディープ京都とDの精神

⑤ 沢田さやか



E

EN

地域に暮らす人にとって、縁は不可欠な存在でしょう。都会暮らしのようなシステムチックな生活が不可能である以上、必ず縁に頼り、人や自然と共生協働する必要があります。縁は作るものではなく、自然と与えられる地域からのギフトです。

① 稲留優樹

縁



F

FUTURE

未来を意識した活動はその地域を守るものです。活動を次の世代に引き継ぐためには活動そのものも残らなければなりません。次の世代の人々が守りたいと思う地域を残すことが住民と地域を繋ぎます。地域の未来を考え、守ろうとする意識が重要になります。

⑦ 梶房明希

これから



G

GEIJYUTSU

違った視点からの事を見る術で、その切り口を見せてくれるのが芸術家かもしれません。おもしろいものは、足もとにある日々の生活の中に潜んでいて、それを見つけるきっかけがアートだと思います。それは美しいものばかりではないかもしれませんが、可能性に満ちています。

⑧ 新井厚子

芸術



H

HYBRID

「いがいと!福知山」。福知山市の新しいキャッチコピーで、意外が溢れる街だとアピールしています。ここは田舎、都会、山、川、伝統性、革新性、物流、災害と様々な趣を見せる街。側から見ればバラバラで小さいが、市民が思い思い自由に組み合わせることができ

① 稲留優樹



I

INAKA

福知山は田舎なのか?都会なのか?田舎から見れば都会であり、都会から見れば田舎です。不便もあれば便利もあります。このどちらにも振り切れていない双方のバランスを持っていることこそが福知山の魅力のひとつではないでしょうか。この魅力をもっと発信していかなければいけません。

⑦ 小林稜大

田舎過ぎず、都会過ぎず

ハイブリッド



J

JIRYOKU



K

KIKKAKE



L

LOVE AT FIRST SIGHT



M

MISSION



N

NANIMONAI



O

ONAJI

地力には2つの意味があります。1つはその地での農作物の生産力、もう1つはそのものの本来の力という意味です。前者はある程度予測し計画できますが、後者は分かっている中々実現できないことでしょう。福知山の本来の力とはなんだろうか。ヒントは日常に溢れています。

地力

何か新たなものを展開していくときなどに必要となる「きっかけ」。それはどこに住もうとも変わりません。「この街、地域を元気にしていくにはどうすべきか」「何をきっかけとして動いていくべきか」。そのきっかけづくりに私たちはどう入り込んでいくべきか考えなくてはいけません。

きっかけづくり

農家民宿「ふるま家」を運営されている沢田さやかさんは、福知山市三和町にある空き家を初めて見た瞬間「ここだ!」と感じ、移住を決意した。それから、沢田さんの新しい生活のスタートだ。モノや人への“ひとめぼれ”から始まる生活は最高にかっこいい。

ひとめぼれ

古本と珈琲「モジカ」が福知山の広小路にでき、あらためて感じているのは、地方にも文化の香りが重要だということ。西村優作店長は大の好き。自らが吟味した本がたくさん並んでいます。ミッションを感じないことは何でももうだめな時代。寝食を忘れて打ち込めることを持ってるです。

ミッション

本当に何もなければ何の魅力も感じることはできないだろう。ではこの町に一体何があるのか。観光地に溢れている作画的な見せ方のない、ありのままの姿。人々の生活が里山の風景に溶け込んでいる姿。そんな当たり前の素朴な景色が、この町の郊外には点在していて、私の心を惹きつける。

何も無いのが魅力

いまは地方であっても同じ価値観、新しい価値観の人ともすぐ出会えます。福知山ワンダーマーケットやカフェ「まいまい堂」、古本と珈琲「モジカ」など、行けば、志を同じくする人やたくさんの友ができます。自分を開けば、どんどん未来が変わってきます。

同じ価値観を持った人々

① 稲留優樹

② 小林稜大

③ 井上麻実

④ 塩見直紀

⑤ 小野田豪介

⑥ 塩見直紀

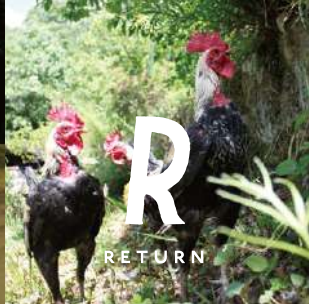
P

POSITIVE



Q

QUALITY



R

RETURN



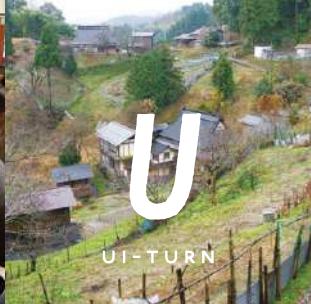
S

SPIRITUAL



T

TOOL



U

UI-TURN

失敗は成功のもとというように、ポジティブに物事を捉えることが新しいアイデアにつながります。そして、たとえ失敗したとしても諦めない前向きな考え方は力になります。地域にとってポジティブ思考が生み出す変化は大きく、地域に対する見方も変わり、発見が増えます。

ポジティブ

陽が昇り、大地に種を蒔く。陽が沈めば、満天の星空と月明かりが田んぼを照らす。そして、ゆっくりと季節が移ろう。時に自然は牙を剥き脅威となる。しかし、私達は自然と共に人間らしく暮らしていることに幸せを感じます。人生は一瞬。日々の喜びが心の質、人生の価値を高めます。

Ⓚ 梶房明希

Ⓜ 宮田毅

クオリティ／本当の豊かさって

都会の暮らしに比べ、今の暮らしは不便で近所付き合いも多い。しかしその不便さに、生きている実感と充実さを感じずにはいられません。季節を感じ手間暇をかけた暮らしは、都会では感じることのできない刺激と感動を、日々私たちに与えてくれています。

Ⓜ 宮田裕美

ノリターン／都会暮らしには戻れない

福知山は森林面積も広く、いくつも枝分かれた川が多数あり、心洗われるお気に入りスポットが必ずあります。心身をゆだね、四季折々の自然を体感し、至福な時間を味わうことができます。

Ⓣ 高瀬樹

スピリチュアル

地域の人同士の知識や知恵の教え合いが、それぞれの持つツールを与えることになり、また与えられることとなります。さまざまな場で地域の人の交流があれば「ツールを与える、与えられる場」となるので、積極的に人と関わることで自分のツールを増やし、人に与えることもできるようになります。

Ⓐ 相見遥也

ツールを与える、与えられる

UIターンということは、「外の世界」を経験した上で故郷に戻ってこられたり、新たに移り住まれたということになります。それぞれ違いはあるにしろ、惹きつけるものが福知山にはあるはず。これはUIターン以外の人たちにも伝えていかないとけないですね。

Ⓚ 小林稜大

UIターンをさせる何か



城下町の生活は車がなくても大丈夫。市役所も病院も郵便局も、学校も図書館も映画館も、八百屋さんもお肉屋さんもスーパーも、歩いていけばなお便利。そんな城下町の生活は、環境にも健康にもお財布にも全てVなのです。

車なくても

福知山では月に一度、「福知山ワンダーマーケット」という市が新町商店街で催されます。こだわりの農家や芸術家の個性豊かな作品が並び自分お気に入りの作品に出会えます。また、自分と同じ価値観を持った人々とも出会えます。

福知山ワンダーマーケット

福知山のような地方の地域では、地域住民の人同士の支え合いが多くあります。この支え合いは、都会に住んでいるとあまり感じることができません。支え合いは地方の地域ならではの特徴です。この地域住民の人同士の支え合いがあるということは、地域の人が住みやすい環境であると言えます。

支え合い

地域内での役割があることは、自分が必要とされる存在であることを示します。また、その地域で暮らす意味や生きがいにもなります。地域内での役割を遂行することで地域との繋がりを実感でき、自分の役割と働きによって地域に変化をもたらすことができます。

役割

都会は誘惑が多いな。ミニスカ太もお洒落な靴。ピコピコ音にハンバーガー。誘惑に弱いわいはつついなびいちゃう。山間に引越したわいの昨今は、家で製作、製作、製作! 額に汗してせっせと田畑! やってますよ! ホンマに〜? へへ、まあまあくらいで気楽にやってます。

雑念ない暮らし

福知山へのUターンインタビュー

ー 2017年5月11日
沢田さやかさん
(農家民宿ふるま家家人 ※三和へ移住)

ー 5月25日
滝町昌寛さん
(イラストレーター ※大江へ移住)

ー 6月8日
新井厚子さん
(美術家 ※大江へUターン)

ー 6月22日
横川知子さん
(カフェ「まいまい堂」経営、Uターン)

ー 6月22日
西村優作さん
(古本と珈琲「モジカ」店長として福知山へ)

ー 7月6日
小野田豪介さん
(仏教文化研究者 ※夜久野へ移住)

ー 10月19日
宮田毅さん・裕美さん夫妻
(有機農家ミヤサイ、旧福知山の農村部に移住)

ー 11月16日
こうの史代さん(漫画家、ご主人の故郷へ)

ー 12月14日
秦貴一郎さん(新規就農、栗農家 ※夜久野へ移住)

Y 横川知子

T 高瀬樹

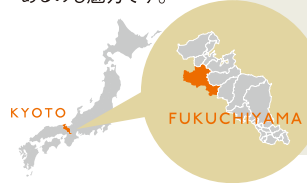
A 相見遥也

K 梶房明希

T 滝町昌寛

福知山市について

1937年(昭和12年)に京都府で2番目の市として誕生。2006年(平成18年)には、福知山市・大江町・三和町・夜久野町の1市3町が合併し、新しい「福知山市」が誕生。由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、恵まれた丹波の自然が残る北近畿の中核都市です。高校が6校あるのも魅力です。



公立大学法人 福知山公立大学



2016年4月、福知山市を設置者として開学した北近畿地域唯一の4年制公立大学です。「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の基本理念のもと、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる人材を育成、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地域創生に寄与することを目的とします。

地域協働型実践教育

福知山公立大学最大の特徴は、学生や教員が大学内から地域に飛び出し、地域課題に学び、課題解決にチャレンジする「地域協働型実践教育」です。このミニブックはこの実践教育の一環として生まれたものです。

「AtoZ」編集手法

塩見直紀研究室が目にする編集手法。AからZまでの26個のキーワードから地域資源(地域の宝もの)に見える化し、本質に挑みつつ、新しい切り口で世界初の作品をつくるのが可能です。AtoZで足元に眠っている宝ものの可能性を伝えていきたいと思っています。みなさんの地域でもAtoZ編集手法、ぜひまちづくり等で活用ください!

福知山の魅力「見える化」ミニブックシリーズ

ミニブックの制作には3つの目的があります。

- 1 学生の「宝もの発見能力」が高まること
- 2 成果物が福知山の新たな地域資源となること
- 3 様々な観点から福知山の「光」を再編集することで、福知山ファンが増えること



農家民宿AtoZ

2016年度前期制作(2年生ゼミ)

福知山と綾部にある農家民宿を訪ね、魅力や新しい旅の可能性を26のキーワードにまとめたもの。



福知山グッドデザインAtoZ

2016年度後期制作(2年生ゼミ)

福知山市の魅力「デザイン」の観点から、魅力を26のキーワードでまとめたもの。



福知山マラソンAtoZ

2017年度制作(3年生ゼミ)

27回目を迎えた福知山マラソンの関係者にインタビュー。魅力、独自性などを26のキーワードでまとめたもの。

福知山移住AtoZ

発行日 2018年1月20日

著者 新井厚子(美術家)

小野田豪介(仏教文化研究者)

沢田さやか(農家民宿「ふるま家」家人)

滝町昌寛(イラストレーター)

宮田毅・裕美(有機農家ミヤサイ)

横川知子(カフェ「まいまい堂」経営)

相見遥也 小林稜大

稲留優樹 高瀬 樹

井上麻実 塩見直紀(特任准教授)

梶房明希

以上、福知山公立大学地域経営学部

地域経営学科2年 キャリア演習II-M

協力 新井厚子(美術家)※タイトル文字制作

小野田豪介(仏教文化研究者)

こうの史代(漫画家)

沢田さやか(農家民宿「ふるま家」家人)

滝町昌寛(イラストレーター)

西村優作(古本と珈琲「モジカ」店長)

秦貴一郎(新規就農、栗農家)

宮田毅・裕美(新規就農、有機農家ミヤサイ)

横川知子(カフェ「まいまい堂」経営)

福知山市役所 地域振興部 移住・企業立地推進課

谷口知弘(福知山公立大学教授、福知山ワンダーマーケット実行委員会)

(敬称略／インタビュー、写真提供)

発行 福知山公立大学 地域経営学部 地域経営学科

キャリア演習II-M 2017年度担当 塩見直紀

shiominaoki@fukuchiyama.ac.jp

〒620-0886 京都府福知山市宇塚3370 Tel.0773-24-7100

http://www.fukuchiyama.ac.jp

福知山移住情報満載Webサイト

体感ツアーや空き家情報、先輩移住者の生の声など、福知山市の移住情報満載Webサイト

京都 | 丹波 福知山移住 FUKUFUKU LIFE

<https://www.welcomeiju.city.fukuchiyama.lg.jp>

ふくふくライフ

検索

福知山市役所地域振興部

移住・企業立地推進課

TEL / 0773-24-9174 FAX / 0773-23-6537

Email / welcome.iju.kigyo@city.fukuchiyama.lg.jp

